公開用

令和４年度第３回　高砂市文化振興審議会

日　時　令和４年１１月２４日（木）１８：００～
場　所　高砂市役所南庁舎５階　大会議室

出席委員	会　長	田端　和彦	委　員	髙橋　賢吉
	副会長	藤村　清春	委　員	松下　尚平
	委　員	天野　富美男	委　員	野一　洋
	委　員	渡邊　紀子		

欠席委員	委　員	岩見　一美	委　員	中野　哲郎
	委　員	松本　光弘		

出席事務局職員

健康こども部長	福原　裕子
健康こども部健康文化室長	牛塚　美智子
教育部教育推進室長	木田　匠
教育部学校教育室長	藤原　秀樹
健康こども部健康文化室 文化スポーツ課長	井村　欽也
健康こども部健康文化室 文化スポーツ課主幹	西村　直巳
健康こども部健康文化室 文化スポーツ課係長	永光　麻衣子
健康こども部健康文化室 文化スポーツ課	髙橋　由佳
健康こども部健康文化室 文化スポーツ課	松本　優季

協議事項

１　開　　会
２　あ　い　さ　つ
３　議　　題
（１）令和４年度事業・５年度予定事業について
（２）第２次高砂市文化振興基本方針前期実施計画について

４　そ　　の　　他

（１）今後のスケジュール

５　閉　　会

○司会

それでは始めさせていただきます。オープニング時に恒例となっておりました謡曲「高砂」全員合唱は、今回は新型コロナウイルス感染症防止のため実施せずにＣＤを流させていただきますので、お手元の詞章をご覧いただき、声を出さずに心の中でご唱和いただきたいと存じます。

（謡曲「高砂」清聴）

○司会

ありがとうございました。

ただいまより令和４年度第３回高砂市文化振興審議会を開催いたします。

開催に先立ちまして、当審議会の公開についてですが、高砂市文化振興審議会の運営に関する規定に基づき公開とさせていただいておりますが、本日傍聴希望者はございません。

委員の皆様におかれましてはお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。

それではここで本日の資料の確認を行いたいと思います。お手元の資料の確認をお願いいたします。

会議次第、謡曲「高砂」の詞章、【資料１】令和４年・５年度予定事業、【資料２】第２次高砂市文化振興基本方針前期実施計画、【資料３】第２次高砂市文化振興基本方針新規施策一覧、【資料４】各委員からの意見・質問一覧表、第２次高砂市文化振興基本方針（素案）修正版、おそろいでしょうか。

それではまず、田端会長よりご挨拶をお願いします。

○会長

今日は大きくは２つのことをしていただきます。１つは、まず事前に資料をお配りさせていただいておりますが、令和４年度事業、５年度の予定事業についての皆様のご意見を賜り、可能なものは修正をしてまいりますし、また不明な点は明らかにしていきたいというふうに思っております。

もう一つが、これも前回からの引き続きになりますけれども、第２次高砂市文化振興基本方針の前期計画についてご意見賜りたいと思っております。いろいろと事務局のほうで修正等もいただいておりますので、その辺りについてもご意見を賜りたいというふうに思っております。

ただ、２番目のほうは事前に資料を渡してないと思いますので、いろいろとご質問等があろうかと思いますけども、何なりと忌憚のないご意見を賜りながら進めていきたいというふうに思っておりますので、円滑な議論にご協力のほどよろしくお願いいたします。

○司会

ありがとうございました。

本日の会議ですが、委員、委員、委員より欠席の申出がありました。出席者７名、欠席者３名により、審議会規則第５条第２項の規定により、過半数が出席されているため会議が成立していることを御報告いたします。

本日は新型コロナウイルス感染症対策として、普段より距離を取って席を配置しております。発言の際には挙手の上、マイクを使っていただきますようお願いします。

今後の議事進行は審議会規則第５条第１項により、会長にお願いしたいと思います。

会長、よろしくお願いします。

○会長

それでは、次第に沿って進めてまいりたいと思います。

先に、令和４年度事業・令和５年度予定事業について、事務局のほうからご説明をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局

事務局でございます。

それでは、令和４年度・令和５年度事業についてご説明をさせていただきます。

資料１の令和４年度事業・令和５年度予定事業をご参照ください。まず、令和５年度予定事業につきましては、令和４年度から変更のある個所については資料の着色をしておりますので参照いただければと思います。主な事業につきましてご説明させていただきます。

まず、１ページ、１番の高砂学ですが、令和５年度予定として、本年度と同様に活動編５回、講座編２回、寺子屋編１回、謡曲編４回を実施する予定で調整をしております。また、詳しい内容につきましては現在調整中でございます。なお、本年度、実施をいたしました「起業人編～２１歳で癌になった経営者～」の講演につきましては、ＹｏｕＴｕｂｅで動画投稿をしております。

次に、７ページ３７番、じょうとんバスのポスターの募集と、続いて８ページ４６番、エコクリーンピアはりまのごみの減量化・再資源化ポスターの募集を新規事業として予定しております。

エコクリーンピアはりま関連になりますが、１２ページ６３番、６４番に施設の見学と、環境学習リサイクル講座が新規事業として挙がっております。

次に１９ページ９５番、文化まつり事業ですが、本年度に文化連盟が４５周年を迎えたことから先日、ロゴマークの公募をいたしました。採用された作品につきましては、広報たかさごやホームページにて公開予定でございます。

次に、３２ページ１６６番、東播磨文化団体連合会事業でございます。

今年度につきましては、各事業実施をされております。来年度は各事業への参加に加えまして、高砂市にて東はりまコーラス大会の開催を予定しております。

資料１につきまして、簡単ですが説明は以上にさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○会長

どうもありがとうございました。

特に、令和５年度新規事業を中心にお話をいただきましたが、それ以外の部分でももちろん結構でございます。事務局にご確認ですが、今日ご意見を賜って、仮に例えば事業等が増えた場合や変更した場合は、来年度事業の予算立てをされる中で修正されるというふうな、要するにそのような意見が次回に反映するという形でよろしいですか。

○事務局

事務局です。

今日、審議をいただけましたご意見を参考にさせていただきまして、予算編成で反映できるところにつきましては反映をさせていただきたいと考えております。よろしくお願いします。

○会長

ということでございますので、来年度に直結するようなお話ということも含めた内容です。

文化振興に関しましては、行政は基本的には環境を整えたりとか啓発であったりとかいわゆる旗振り役というものが大きな仕事です。一方で、もう一つ、いわゆる首班的な役割というものをどこまで行政が果たすのかというのを、いろいろと課題が出ています。全課的に、今回も幾つか出ておりますけれどもそれぞれの事業に対して広報であったり、やりたいことを再考したりということでございます。これらについては特に委員の皆様からどういう効果があったのかとか令和５年度の事業については常にお聞きするところです。ですから、そういったことも少し念頭に置きながらこの事業の推進に当たってどうなるかということも含めてご意見を賜りたいと思います。先ほどおっしゃっていただいたように、来年度に直結するような内容になってくるということでございますので、よろしくお願いいたします。

今ここまでのところの説明でご不明な点、それから先ほど申しましたけども見直すべきではないかと、あるいはこういうものももうちょっと評価したらどうかということも含めてご意見を賜りたいと思います。どうぞ、挙手の上、ご発言をお願いいたします。委員からお願いいたします。

○委員

今までの、ちょうど黒塗りにしているところという説明がありましたのでそれで気がついたのですが、７ページの３７番、じょうとんバスポスターを事業の名称に

されております。これは、じょうとんバスに親近感を持ってもらうためにポスターを募集するということですけれども、それこそ小学生たちにじょうとんバスに皆さん乗せてあげたらどうですか。ポスターを描いてもらうより、バスに乗せて１周させてあげたらバスのよさ、どこへとまるのだということを聞いて、おばあちゃんたちこれでいいのかなっていうことも分かりますし、そしてそれをした後に、みんな回って見たらいろいろなバスのポスターが描けるね、描いてみようというふうに持っていけます。高砂市内の全域にわたりましていろいろな高砂市の絵もうまく入れ込みながらのポスターが出来上がるのではないですかね。そんなところを考えながら、子供たちが喜ぶような方向に持っていっていただけたらうれしいなと思っております。もちろんポスターは大歓迎ですけれども、ちょっと一工夫よろしくお願いいたします。

○会長

どうもありがとうございました。ご意見ということでよろしいでしょうか。大変面白いアイデアだったと思いますし、じょうとんバスは、市のほうで運営しているバスですね。神姫バスですか。案は特に市のほうですごくお金使うわけではないので希望いたしますので、考えていただいてよろしいかなと思います。効果がもしかしたら大きいというのが委員のご意見でした。ありがとうございます。

こういうふうなアイデアでも結構です。どうぞいろいろと考えをおっしゃってください。

網掛けの部分以外でも結構です。ご質問いかがですか。

○副会長

これは補足ですけれど、先ほど３２ページ、東はりまコーラス大会を実施するというのがありました。来年は１１月５日に「東はりまコーラス大会」を高砂市のじょうとんばホールで実施するということに決まっております。そのときしか空いてないということもあったのですけれども、１１月３日に高砂市民音楽祭を合唱連盟でやるので、引き続きいうことにはなるのですが、そういうことで決まっています。

これは感想ですけども、昨日、東はりまコーラス大会が、加東市のやしろ国際学習塾であったのですが、マスクをして全員歌ったのですけども、ピアノの音は聞こえる、声を言葉としては聞こえるけれども日本語して聞こえない。変な言い方ですね。発声されているということは聞こえるのですが、マスクしているだけに日本語の意味としてなかなか聞こえにくいというのはそれがすごく感じるところでした。これはもう全体の国とか県の方針に従うということにはなるのですけど、それを昨日、私だけじゃなく感じる人が結構多かったように思いました。これはもう感想です。以上です。

○委員

さっきのじょうとんバスの件と関連するのですが、エコクリーンピアはりまの実施のスケジュールを教えてください。

○会長

今、分かっている範囲でご回答お願いいたします。

○事務局

今、広報にも掲載されていますが、エコクリーンピアはりまで公開講座なども実施をされておられます。その中でポスターも募集をするということで聞いております。詳しいところまでは分からず申し訳ないですが。

○委員

大分前に、現場にいたときにやっていただいて助かったなというのが一つありまして、下水道のポスターの募集は今もやっているのですか。あのときに子供たちにどう説明しようかと思ったわけです。そうしたらちょうど、下水道の働きについてのビデオを各学校に送ってきていただいて、それを授業で使ったことがあります。上水道は大体分かっていても下水道は子供たちなかなか分からないんですね。そういうときに、そのビデオを送ってきていただいたので、すごく子供たちに授業がやりやすかったということがありました。ただ、「こういうのをやるからポスター描いてよ」じゃなく、さっきのじょうとんバスも絡んでくるのですけども、乗ってもらうのも一つの手だし、こういう趣旨で走らせているんだよ、こういうのが目的なんだよ、こういういいことがあるんだよとか。同じくエコクリーンピアもそうですけども、こういうことをやっているんだよっていうところを子供たちに分かるような出し方をしていただくと、描かせる側も描かせやすいし、描く子供たちもいいと思いますので、今その話を聞きながらあのとき助かったなというのを思い出しましたので話をさせていただきました。

○会長

どうもありがとうございました。先ほどの委員と共通することですけど、何が目的なのか、絵を描かせることが目的ではなくて啓発が目的であれば、それをしっかりとしていただくということが大事です。非常に文化振興審議会らしい件だというふうに思います。どうぞよろしくお願いいたします。

ほか、いかがでしょうか。質問、あるいは確認事項でも結構ですけども、いかがでしょうか。さん、お願いいたします。

○委員

今、委員がおっしゃられたエコクリーンピアはりまのことにつながる、１２ページの下に施設見学という項目もあるのですけれど、令和４年度も実施して令和５年度も実施するということが記載されているのですが、申し込みのあった学校を受け入れるという記載の仕方になっていますけども、僕も個人的にあそこは施設見学行かせていただきまして、行く前と行った後とではごみに対する、資源に対する気持

ちや考え方というのはすごく僕自身が変わったんですね。なので、申し込みがあった学校のみの受入れではなく、ぜひ学校の子供たちにあの施設に来ていただいて、それを見てもらった上でポスターを描いてもらうという、そういうつながりもとても大事なのかなという感じに受け取っておりますのでぜひ実施していただければなと思います。

○会長

ありがとうございました。ご提案ということでよろしいでしょうか。特にいろいろとこういうアイデアをいただきたいというふうに思っています。

私から確認でもよろしいですかね。３０ページの１５８番です。これはいわゆる施設整備の話が出ていて、恐らくこの令和４年度に関しては計画的修繕ということで８００万円挙げておられると。令和５年度は、指定管理者による小修繕ということですけど、これは要するに市のほうとしては指定管理者の計画的な修繕ではなくてその都度修繕といいますか、そういうことに任せるというこういうふうなのでよろしいでしょうか。それからこれはアンケートにあったので今後建て替えもあるわけですよね。それに当たってこれだけの計画修繕をすることも経理の判断、この辺りはどのようなプロセスで決められたのかということをお伺いしてよろしいでしょうか。

○事務局

事務局でございます。

文化会館・文化保健センターの施設整備につきましては、指定管理者のほうから修繕を要するものの一覧ということで、どれが重要度が高いかという形で市のほうに出していただいて、協議の上修繕の順位を決めていっております。建て替えについてはまだ具体的にいつ、どうというところは決まっていない状況でございます。文化保健センターにつきましては、１階に健康増進課が入っておりましたが、健診の機能が来月以降、市の本庁舎のほうに移転をしてくるということで、１階部分の活用方法についてはこちらで指定管理者と協働して検討してまいっておるところです。

来年度については、文化保健センターの中ホールのスポットライトですね、明るさが不足しているというご意見いただいておりましたので、そちらの修繕を第一優先にということで対応をしております。

以上です。

○会長

私としては当然、この施設をしばらく、あと何年使用するというのは当然想定していかなきゃいけなくて、その間にどれぐらいの修繕費つけていくべきなのか、そして建て替えに向けてどうしていくのか、それと合わせて先ほどおっしゃっていただいたように、修繕リストの重点計画、例えば緊急性が高いとか安全に支障を来す

とかいうものに関しての恐らく優先順位が高い。一方で、これを改善することによって利用者の満足度が高まるというものは、どんな判断をするのかというのは、実は結構シビアに考えていかないといけないかなというふうに思っています。今後は、とりあえずは先ほど出たスポットライトの話ですけど、光度が弱いということによって、例えばそれを上げることによって利用客が増えるのかどうかといようなことも含めて今後考えていかないと思います。

○委員

その件について、まだ建て替えのほうが決まってないということですけれども、この期間はどれぐらいあるのでしょうか。でないとこの１億から使う場合は、補修といいましても大きい金額であると思いますので、そこら辺のほうが、建て替えがある程度５年先などはっきり分かっておれば、もう５年間辛抱してよというのも一つの案なのかなとは思いますけれども、そこら辺のことの身動きというのはどうなっているのでしょうか。

○会長

この辺りは公共施設管理の部分なのですごく重要なところでもあるのですけど、今わかっている範囲で結構です。建て替えることを前提としたアンケートを取りましたので、もしかしたら市民の中にはその方がいいと思ってらっしゃる方もいるかと思います。委員のご質問は当然かなと思います。

○事務局

健康こども部長でございます。

今、高砂市のほうでこういった施設をどのようにしていくかという、公共施設等総合管理計画が平成２９年１月に策定されましたが、それについてまた個々に最適化計画というのを令和３年の３月につくっております。その中では第１期、２期というような分け方をしておりまして、令和８年までにすること、それから、令和１８年までにすることというのが大まかに方向性が決まっております。その中で文化会館・文化保健センターの建て替えということも検討するようになっておりますが、まだそこをいつするとかというような計画はできてないところです。これはそれぞれの、例えば文化スポーツの施設についてもっと個別にこの施設はどうしていくというのを今後庁内で検討していって方向性を出して、それで実際にこの年度ぐらいにやりましょうということが決まってくれば、今度また市のほうで事業計画というのを立てていくのですけども、それはお金のことでどれぐらいの予算がこの年に要るかということを決めていって、そこで重要計画が定まってくると。その中で５年以内でしたら中期財政計画という財政の計画ができてきます。まだそこの段階に至っていないというのが現状です。今考えているのは事務局のほうが言いましたような、文化保健センターの今後の在り方というのが健康増進課の保健センター部分が全部本庁のほうへ来てしまいますので、そこの使い方をどうしようという、もっと

具体的に即決めないといけないようなことを今検討しています。また、スポーツ施設のほうでは生石体育センターであるとか市民プールであるといったところの検討にも入っておりますが、他の施設については今後、庁内で文化スポーツ施設の庁内検討委員会というのをつくっておりますので、その中で決めていくことになります。残念ながらまだ文化の施設についてはいつするということまで細かい計画はできていないというところです。

○会長

ありがとうございました。私ども財政研究に関わる人間でございますので、当然、先ほどおっしゃっていただいたようないわゆる公共施設の管理計画については、基本的には縮小の方向になってないものがほとんどということを承知しています。人口が減少しているのだからそれに合わせるとの意見もあります。その中で、先ほど言ったようにできるだけ効率的に使えるのは使っていくのだけども、早めに改修していくのも一つの手だと思います。

先ほどおっしゃったように、これをつくるにはある程度金額が大きいですから、もう少しいろいろと見なきゃいけないものがたくさんあって、今の段階では決まっていない。ただ、アンケートでは取っていますので、市民の中にはもしかしたら早くと思っている方もいるのかなというふうに思います。

ほか、いかがでしょうか。

○副会長

本当に小さな要望で申し訳ないのですが、先ほどの３０ページの１５８番ですけども、高砂市民音楽祭で録音をしてもらうのが今でもＣＤじゃなしにＭＤでね。何とかＣＤで録音できるようにしてほしいのですけれども、それを変えようと思ったらかなりごそっと機材を変えないと駄目だということで、今もＭＤです。ＭＤは販売すらほとんどされてないのが現状なのでね。だから、今年から高砂市民音楽祭も今までビデオで撮ったものを、ＭＤに落としてもらって、ＭＤから歌のところはクリアな音を当て込むという格好でしていたのですけども、ＭＤでどうこう言われるのだったらもうやめようかということで、ビデオで撮った音にしました。少なくともＣＤか何かで使えるようにと思います。小さな要望でした。

○委員

併せて小さなお願いをしてもよろしいでしょうか。

今のスポットライトを交換するというのがありましたが、そのときのお願いですけれど、ずっと我々中ホールを美術協会展で使わせていただいているのですけども、他市から見にこられた方から、立派なホールですね、立派な会場ですねと言っていただけるんですね。ただ、照明が悪いですねというのが二言目に必ず出てきます。見ていただいたら分かりますように、光の当たっているところとそうでないところ。一番条件が悪いのは、作品に影が斜めに映ります。文化会館の方も大分いろいろそ

んなお話をしてお願いをしているものですから、よくその辺りは理解してくださって、うまくこの影が消えるように極力やっていただけるのですが、僕らも陳列をして一番困るのが、この照明の問題です。スポットライトをもし、修理、改良するのでしたらなかなか建物の建て替えというのは無理だと思いますので、ずっと先のことになると思いますので、その辺りも考えて照明の改善をやっていただけたらなと思います。あのホール自身が展示用のホールではなく多目的ということがありますので、かなり無理なお願いじゃないかなと思うのですが。一時期、特別に上から吊るした形のスポットをつけていただいて影を消していただいたこともあると思うのですけれど、今、この設備がなくなってしまっているみたいなので、その辺りのことも考えてやっていただけたらなというふうに思います。

それと、いつになるか分からないですけども、建て替えるときには、使う側の要求も聞いていただけたらなというふうに思います。

○会長

どうもありがとうございます。今、ご意見でよろしいですね。委員、お願いします。

○委員

さんが言われた、１２ページの６３番、申し込みのあった小学校を受け入れるという高砂市、加古川市、稲美町、播磨町の全てなので大事だと思うのですが、申し込みをする学校というのは、学校の校長先生が決めるのですか。学年で、例えば総合的な学習の時間というのがあると思うのですけど、それの高砂小学校だったら４年生が防災教育をされています。何が言いたいかというと、例えば、私たちもよく企画をして子供たちに参加してもらえるように尽力するのですが、実際、やって参加してもらえるのは親御さんが新聞を見てこんなのがあるから子供に体験させたいなというので参加することが多い。逆にそういう子ども達じゃなくて、本当に参加してほしい子ども達に参加してもらえないと感じています。この、申込みのあった学校を受け入れるということであれば、何か子供たちに学ばせたいなというか、実際に現場で作業しているところを見せることによってすごく第六感というか感覚、五感を使って学ぶことによってすごく子供たちは成長するだろうなって先生が思って行かせるのか、学校の校長先生がもう、行かせたほうがいいとおっしゃっているのか分かりませんが、いろいろやっている学校ほどそういうとこに申し込む。申し込まない学校というのは逆に子供たちで手いっぱいで手が回らないということかもしれませんけども、ちょっと強制的にでもそういう感覚を鍛えるようなことを教育委員会さんが主導してでもされるほうがいいのかなと思います。逆に高砂はもう絶対にやった方がいいと思いました。というのは、「職業人と語ろう」という職業体験事業を私たちが夢のたねグループで、高砂小学校から始めて、開催小学校の先生が他小学校に転任して自主開催される例もあり、７校程度で開催実績があります。

その「職業人と語ろう」の事業で、ある小学校に職業人が行った時の話ですが、一緒に行ったスタッフがその学校を見て、廊下を歩いたら汚い学校ですねと言ったらしいです。その話を聞いたとき、そういう学校というのはどうなるのだろう、ほっておいたら子ども達のために何もせずに済んでしまい、子ども達にとってあまり環境がよくない状況なのかなって思うので、その辺り、教育委員会さんなどが関係してこういうのをされているのかなというのがすごく気になりました。

○会長

ありがとうございました。どこまでが教育部のほうの話か、どこまでお答えいただけるか分からないのですが、お答えできる範囲で結構でございます。事務局、お願いします。

○事務局

失礼します。学校教育室長の藤原です。先ほどの件なのですが、この高砂市におきましては社会科で小学校４年生の学年がごみの学習をする関係で４年生がエコクリーンピアはりまさんのほうに見学に行っておるというようなところかと思われます。直接学校とそちらとのやり取りをしていただくので、今現在把握したものが資料としてございませんけれども、恐らく、例年ごみの学習でそういった施設を利用させていただいておりますので、今年度につきましても継続して見学のほうをしているかというふうに思っております。

○会長

以上でよろしいですか。

○委員

高砂市の場合は、全ての学校が行かれているのですか。

○事務局

恐らくなんですけれども行かれていると思われます。

○会長

４年生だから毎年変わるわけですね、だから毎年変わっていくはずだから、高砂の小学生はどこかで１回は行っているということですね。よろしいですか、ありがとうございます。

○副会長

関連してということにつながるかもしれないですけれど、教育委員会のほうにお尋ねしたいのですけれども、高砂市民音楽祭をやっていたり、事務局の場合そういうことが起きているのかもしれないのですが、例えば高砂市民音楽祭に中学校のほうで、クラス対抗で合唱大会があって、それで最優秀になったクラスをぜひ市民音楽祭を兼ねたいという格好でもやったこともあるのですけども、最終的に中学の校長会でも諮ってもらったりはしていたのですが、なかなか日曜日だから生徒がそろわないということも少し表には立てられたのですけども、ずっと話を聞いていたら

引率教員、クラス全体の引率教員の扱いの問題、過重労働の問題そういうこともあってできなかったという感覚をすごく持ったんですけれども、そのあたりの状況などいかがでしょうか。

○事務局

おっしゃられるように何十年か前ぐらいは合唱コンクールで優秀賞を取ったクラスが参加させていただいたりというような現状があったかもしれないですけれども、現在のところ働き方改革等々がございまして、引率というような部分もありますし、行き帰りの交通安全という部分もあったりするというところで、子供たちはそういう場で発表できるというところで士気もまた高まるのかもしれませんが、ちょっと難しい状況ではあるのかなというようなところです。

○副会長

はい。

○会長

ありがとうございました。別の会議の高砂型学校運営協議会の中では、令和の教育をどうやっていくのかということで会議しています。コミュニティスクールの一環ですからコミュニティのほうでももう少し何か考えることがあるといいかなと思っています。

もし連携というのがあれば、特に学校、教育委員会になると思いますのでよろしくお願いします。

○事務局

はい、ありがとうございます。

○会長

大変、本当に難しいですね、先ほどおっしゃっていただいた中で教員をどうやって補充させるかが、大変難しい中でできることは充実させていく。ほかいかがでしょうか。細かいことで申し訳ないのですが、１７ページのところで、施策８が文化資源をめぐるまちなかで自主的なワークショップや市民会議の開催が、該当なしとなっていて、これは２－２－８の四角のところなのですが、昨年度を見ると、謡曲「高砂」の２－２－６と一緒なのかなと思うのですけども、昨年度だと２－２－８で文化スポーツ課の謡曲「高砂」普及委員会というのがあって、２－２－６の再掲がされていないので何かあるのかなと思いました。

もう一つシティプロモーションの方は、令和３年度限りで終了なのでこれはこれで構わないのですけれども、該当事業なしということが気になったので、昨年度は２－２－６再掲で書かれていたので、細かいことで申し訳ないのですが、該当なしとなると何かちょっと施策と事業をやってなかったらまずいんじゃないかなということを思いました。

○事務局

ありがとうございます。昨年度と記載の方法が変わっております。この記載の形になってしまうと、事業がなくなっているというような形になってしまうので、昨年度と合わせた形で対応させていただきたいと思います。

以上です。

○会長

よろしいでしょうか。

いろいろとご意見をいただきましてありがとうございました。また、提案のほうもたくさんいただきました。特にポスターに関しては、材料を子供たちに与えた上で、提示した上で描いてもらうことが大切だと、こういう貴重なご意見をいただきました。それからエコクリーンピアはりま、ある意味これは広域行政の一つの成果でもありますので、高砂市だけでなくて広域の施設がここにあるということ、そしてSDGsの関係からもなるべく多くの方から利用いただきたいと思います。

そうしましたら、貴重なご意見どうもありがとうございました。時間も来ておりますので、次に議題２の第２次高砂市文化振興基本方針前期実施計画についてということで、これにつきまして事務局のほうからご説明をお願いします。

○事務局

事務局でございます。それでは、議題３の２、第２次高砂市文化振興基本方針前期実施計画について説明申し上げます。

資料２、３、４とカラー印刷の方針の本編をご用意お願いします。

実施計画についてご説明を申し上げます前に、本編の変更でありますとか修正についてご説明をいたします。カラー印刷のものをご準備されてますでしょうか。

「第１章策定にあたって」というものが表紙に来ておるものでございます。おそろいでしょうか。

このまず７ページでございます。上から５行目に前回ご提案をいただきました市指定文化財や新事業や工楽松右衛門旧宅この文言を追加しております。

この記載と同じように追加をした文言あるいは修正をした文言につきましては赤字で黄色の塗りつぶしでお示しをしております。

次にこの下です。高砂市美術展の写真、前回会場全体が閑散と見えるというご指摘をいただきましたので写真を変更いたしました。

次に８ページの小学校給食ですが、こちらも地産地消につながらない写真ではないかというご指摘をいただきましたので、いかなごのくぎ煮がご飯に乗っているこの写真を今のところ選定をしております。

次に、先へ進みます、１８ページお願いします。

課題１から５ということで掲げております中で表現等について前回ご指摘をいただいております。そのうち課題の１、市民が自発的な文化芸術活動の「鑑賞」「活動」「参加」につながるというふうに書いております。理念としております「つむ

ぎ　つながり　つくりだす」というものを本編全体に入れてはどうかというご意見を基に前回案をお示ししたのですが、言い回しが高圧的といいますか、あまりよくないのではないかというご指摘をいただきましたので、こんなふうに変更をいたしました。

同じく課題の３の２行目、「文化意識をつむぎ」としておりましたのを、「つむぎ出し」というふうに変更をしております。

次にその下の課題４です。幅広い年齢層やニーズに対応する、この「ニーズ」についてもご意見がございました。「要望」ですとかそういった言葉にしてはどうかというご意見をいただいておりましたが、検討しまして、ニーズという広義的な意味を持たせたかったという意図がございます。要望となると「こうしてほしい、ああしてほしい」という意見待ちの姿勢になってしまうというところもありますし、狭義的な意味になってしまうのかなというふうに考えまして、ニーズという言葉はある程度社会的認識がある言葉かなというふうに判断をいたしまして、そのまま「ニーズ」という言葉で課題４に、お示しをしております。

内容の２行目ですが、「施策を探求し」ということで、前に研究という言葉を使っておりました。論理立ててというような研究をして、研究という言葉を使っていたのですけれども、調べてみたところ探求のほうがどちらかというと我々の発信したいことに近いのかなというふうに考えましたので「探求」という言葉に変更をいたしました。

次に、２２ページ、２３ページです。

前回御議論いただきました方針、理念について「つむぎ　つながり　つくりだす文化と共に育つまち　高砂」これに決定をいたしました。こちらについては変更をこの後、特にない限りしないというふうに考えておりますので、この理念の下、施策を進めてまいりたいと考えております。

隣の２３ページにもう一度上に理念を掲げてはみたのですが、事務局の中であえてもう要らないかなという案もあります。「つむぎ　つながり　つくりだす文化と共に育つまち」、事務局の中でも２回も要らないかなというような案もあるので、もしそれに対してご意見があればまた後ほどお願いをいたします。

次に２４ページをお願いいたします。

３の基本目標のうち、基本目標の１です。

こちら基本目標の点が２つ並んでいる説明書きのところに「つくります」という言葉を使っていますが、下の施策の１から４に関しては「図ります」ということで、この辺の整合ということで、前回の審議会でご意見をいただいたところですが、「つくります」と「図ります」の差ですけれども、一応この説明のところには広い意味で、将来像を見据えたという意味で「つくります」というような言葉を使っています。というと思えば、その基本目標２の説明のところには「図ります」があっ

たりで矛盾といえば矛盾ですけれども、どちらかというと親しみやすい言葉をこの説明書きのほうには使いたいという思いから「つくります」という言葉をそのまま残しまして、施策の１から４の具体的な施策ですとか、戦略、どういうふうに進めていくというのを言葉で表すようにいたしましたので、「図ります」という言葉をそのまま残しております。

次に、２９ページをお願いいたします。基本目標の２、施策の３です。

事前の質問にもいただいていたところですけれども、施策３の①、②の説明ですけれども、説明と項目ですが、これは編集中の作業のミスによるものでこの場でお詫びをさせていただいて修正案をご覧いただきたいと思います。

この施策の３においては、活動の場の維持とその発展。活動主体同士のつながりの構築を目指すところとしております。①の文化芸術活動を行う場の充実では、個人や団体の活動を継続し、その上にそれらの充実を図ることで活動の新たな発見を見出し、発展を図ることを目指してまいります。

②のつながりの充実ということで、活動する個人や団体、事業者が連携し、文化施策の充実を図るということを目指してまいります。

施策３ではこの項目に対して取り組んでいくということで、前回の資料と大きく修正になっております。

この施策３ですけれども、団体や個人の活動がその場に収まるだけではなく、お互いを知り、横のつながりができていくことで活動の継続ですとか新たな活動の場の発掘につながるような取組を検討してまいりたいと考えております。

現在、文化交流事業として東播磨文化団体連合会によるものですとか、あと県の事業による交流がございます。それらの活用に加えまして、新たな手法についても検討してまいります。この新たな手法について、前回アウトリーチというような言葉を使ってここの内容のところで説明をしておりましたが、どちらも分かりづらいというご意見、ご指摘をいただきましたので、新たな活動の手法の提案というふうな文言に変更をいたしております。

方針について主な修正点と前回の意見に関しての検討状況は以上でございます。

続きまして、実施計画について説明をしてまいります。

【資料２】と【資料３】をお願いいたします。

まず、【資料３】についてご説明を申し上げます。

この実施計画の策定に当たりまして、庁内の各課に方針の内容、次期方針の内容を基にどんな事業があって、どんな事業でしたらこの方針に取組として挙げていただけるかということを照会いたしました。その中で、現行方針の取組の中でない取組としてこの１枚に挙げている８事業の提案がありましたので、新たに実施計画に組み込む予定としております。工楽松右衛門旧宅の充実や活用、ポスターに関すること、施設見学に関すること、ボランティアガイドの育成、職員研修、移住定住促

進ガイドブック、これについては既に今ある事業を我々のこの第２次実施計画実施計画として取り組むということで挙げていただいております。新しくつくるという事業ではないということですけれども、一応この提案がありましたのでこれも反映してまいりたいと考えております。

次に、【資料２】をお願いいたします。

前期の実施計画といたしまして、まず表紙をめくっていただくと、実施計画についてということで、この実施計画策定の趣旨、期間、進捗管理をどのように行っていくかということをお示ししております。

まず趣旨ですが、第２次方針の前期期間である令和５年度から１４年度までの間の中間見直しを行うまでの５年間の計画をこちらに沿ってやっていきますということでお示ししております。設定期間も５年ということでお示しをしております。

その隣のページ、実施計画の体系ということで、今回の実施計画の体系をこちらにお示しをしておりますが、基本目標をまず大分類、４つの基本目標を大分類としましてその下の４つまたは２つの施策を中分類、その下の具体的施策を小分類として、この小分類単位で施策を掲げることといたしております。

先ほど左の１でも見ていただいた現行方針ですけれども、これにさらにまだこの下に取組があって、それに対して実施計画はどういうことをしていくかというふうにしておりましたら、進捗管理と今回の検証がやりづらいというところもありましたので、それを効率的に行うためにこの形を取ってまいろうかなというふうに考えております。

ページ番号１以降につきましてはそれぞれの小分類の施策に対する実施計画、実際の事業というものをお示ししておりますが、お目通しいただいた委員さんにはお分かりかと思うのですけれども、今現在取り組んでいる事業とおおむね同じものを施策順並び替えたような並びになっております。

ここには実施計画として取組と担当課までをお示しをしておりますが、実際来年度からこれの進捗管理に当たる折には、これに加えて情報発信の有無とその媒体でありますとか、あと感染症等による予測できない延期や中止の有無等を確認する欄を設けまして、次期計画で特に取り組むこととしております情報発信力の強化に特化した管理をしてまいりたいと考えております。同様の施策ですというふうに申し上げまして、多くの施策がありながらも残念ながらそれで浸透していないというような現状がアンケートでも分かったところですので、まず前期の実施計画においては正しくこの文化と施策をやっているということを知ってもらうということに主に取り組んでまいりたいと考えております。

【資料３】に戻っていただきまして、担当課を見ていただければわかるのですが、文化スポーツ課の新規施策はこのうち何も入っていないという現状でございます。文化スポーツ課で今やっている施策については全て今反映している状態なので、こ

こに確定しているものとして全て挙げられないというところもあるのですけれども、何も我々もしない、できないではよくないので、今後、文化を知ってもらうというような手に取って見るようなハンドブックでありますとか、そういったものを作成できればということで、我々文化スポーツ課だけでは難しいところがありますので、全庁横断的にシティプロモーション室でありますとか、文化財を担当している生涯学習課ですとかそういったところと７０周年もやってまいりますので、大きく何かを作成できればというようなことも案として考えております。

以前からも委員の方からもご意見がありますように、市役所のロビーとかでのコンサートとか発表の場というのを設けられないかというご提案をずっといただいておりますので、これも前向きに実施に向けての検討を進めてまいりたいと考えております。どこまでのものができるかというのは実際やってみないと分からないところもあるのですが、小さい規模のものから映像を流すとか、そういった手法も考えながら文化スポーツ課として新しいものが何かできないかというのを引続き検討してまいりたいと考えております。

簡単ですが実施計画の説明は以上です。よろしくお願いいたします。

○会長

どうもありがとうございました。今、実施計画をやっているということで、具体的にはそれを踏まえたものですよというご説明でございました。

これの基本方針についての修正というのは先ほど伺ったとおりですが、皆様には前回のときに写真のことでございますとかお伺いいたしました。それから、何よりも一番大きいのはこの基本理念が決定したということで、「つむぎ　つながり　つくりだす　文化共に育つまち」ということで挙げていただきました。

先ほど事務局が言われた２３ページ、この方針でいいかどうか。この上に理念を入れるのがいいかどうかということと、まず、この部分について皆様ご意見をいただければと思います。

○副会長

２３ページですけども、このままだったら言葉だけが浮いてしまうので、方針理念に変えて、それでその「つむぎ　つながり　つくりだす　文化と共に育つ高砂」に括弧で入れてもらったら、少し落ち着く感じにはなるかなと思います。単純な繰り返しに見られないようにできるのかなという感じは受けました。確かに、この下の話と２３ページを見ていたらあるほうがいいのかなとは個人的には思いました。

○会長

ありがとうございました。ほかいかがでしょうか。

○委員

すみません、２３ページの上はもう要らないと思います。そして、方針理念というのは２２ページにありますから、この４つの項目、「つむぎ　つながる　つくり

だす　文化と共に育つまち」それを箱の中に入れ込みながらこの１ページにちゃんと納めたらいかがでしょう。そのほうがいいのではないでしょうか。いろいろな案がありますので一つの提案でございます。

○会長

ありがとうございます。

○委員

私も２３ページの上の部分は、要らないと思います。ただ、左側の基本方針が小さくなっていて、この説明だけが少し、ぽんと大きいので、この辺のバランスが悪いような気がします。この左のこの四角で囲んでいるのが逆に、２つも要らないというように思うのですが。何かくどいというか。説明が大き過ぎるので少し小さくして、メインの方をもう少し大きくした方が良いと思います。

○会長

ありがとうございました。要はこのつむぎ、高砂市と「松右衛門帆布」、こう書いてあるこの文章がはっきり分からないから多分今こういう議論になっているのだと思います。

○委員

結局ページのレイアウトが悪いんですね。これ２３ページだけだったら非常にきれいですよね。ですから、ここのところのレイアウトを考えられたらどうですか。だから、２２ページの方針理念を四角で囲んで置いておくのだったら、２３ページ上の黄色い部分はさっきの話にあったように要らないし、「つむぎ　つながり　つくりだす　文化と共に育つまち」、こっちの項目をもうちょっとうまく、きれいに。

○委員

隣のページ合わせてもう一度レイアウトですね。

○委員

できたら２３ページ、大きな囲みの中に入れられないですか。

四角にちょっと抵抗があったら角を取って丸くしてもいいから。

それで、「つむぎ　つながる」の２２ページの下のこの言葉、ここの四角を取りましょう。ここの四角を取って、文字を少し太目にすればきれいじゃないですか。どうしてもこのページのレイアウトがこういうふうにならざるを得ないのであれば。だから、２３ページ上の方針理念は要らないですよ。その代わり、２３ページの説明を四角の中に入れて、この「つむぎ」の項目ごとに先に何かつけてもいいじゃないですか。ぼっくりんつけてもいいですね、ぼっくりんが、ぴっ、ぴっ、ぴっ、ぴっ、ぴっと並んでいて、それからこの言葉を引っ張ってきてもいいし、何かそういうふうなことしたほうが内容柔らかくなって見やすいんじゃないかなというふうには思います。

○副会長

全体のレイアウトですね。

○委員

そうそう、レイアウトだけの問題だと思います。「つむぎ　つながる」これは２回も繰り返す必要はないと思います。

○会長

よろしいでしょうか。貴重なご意見いただきましたけども、まず、一つは、この２３ページの「つむぎ　つながり　つくりだす　文化と共に育つまち」という、方針理念を説明する部分ですが、それだけ独立しているので、これは何なんだろうというふうに思われてしまうというのであれば、先ほど委員がおっしゃったように四角で囲んで、ここは説明ですよということが分かるようにしていただければいいのかなと思いますので、少しそこ辺はレイアウトの調整をお願いします。

○事務局

はい、ありがとうございました。

○会長

方針についてそれぞれご意見を賜り、そのあと修正いただいたと思います。もし何かまた今後ご質問があればお受けいたしますが、一応この方向で行きたいというふうに思っています。

この方針に沿った形でこの個別計画ができておりますので、これも改訂というのは方針に沿ったものという形で、それを踏まえた上でご意見を賜りたいということと、それから場合によっては文化スポーツ課でこういう事業もあるんじゃないのという事業提案ですね。ご意見をお伺いしている部分もありますのでそこも含めて何かご意見、ご質問あればお願いいたします。

○副会長

ロビーでコンサートができるということで、お願いしましたらＪＲの明石駅、加古川駅、姫路駅の街頭ピアノ、ああいうのを置きますので、そんなに場所を取らないのでこのロビーにそのピアノはぜひ置いてほしいな。もう中古でも構いませんからね。調律とか運搬するための費用は必要だと思いますけども、お願いしたいなと思っています。以上です。

○会長

ありがとうございました。従前より委員からの要望していることでもございますのでよろしくお願いいたします。ほかによろしいですか。

○委員

私のほうは、送ってきていただきました書類を拝見いたしまして、やはり、子供たちの基本的知識や学力をつけてからいろいろなことをさせる方がよいと思います。なぜこんなことを言うかというと、申義堂ができておりますよね、日本の江戸時代におきましての寺子屋の教育は、６歳ぐらいの子供たちから本当にしっかりした大

人に育つまでまず基本は知識の勉強です。それからいろいろなところへ発表を持っていけるという方向性にしていかないことには、今、この頃学校のほうのやり方も発表がよくできる子のほうがいいみたいなことですけれども、それは本末転倒で知識とか基本の学力がきちっとついて、そしてその上にいろいろなことを発表できていける、そういう子供たちをつくっていかないといけないのではないかと思います。高砂市のほうも申義堂がありますので、そういうところのことを考えながら学校のほうの授業におきましても、子供たちの本当の基本的なことの実力をつけていっていただきたいなと思っております。今、世界的に見ましても日本の子供たちの学力はかなり落ちているようで、ちょっと情けないかなと思いますので、そこら辺のところをまずしっかり高砂市におきましては、頑張っていっていただけたらいいなと思うのでその意見を申しました。

○会長

委員いかがですか。ご意見あるいは意見書の回答について、この回答ではわかりにくいというようなことであれば再度ご質問いただいてもかまいません。

○委員

今言われたように、最後のところが少し回答の意味が分からないというか、私の意見の書き方が悪いのかもしれないのですが、事業を実施するにしても、文化的に、この基本理念に基づいてこういうふうなことも関係している、こういうことも関係した事業であるということを意識して取り組んでもらえたらすごい、いいものになるなという意見を期待を込めて書いただけなので、「進捗管理の段階において」とかいう回答は少し違うのではないかと思いました。

○会長

いかがでしょうか、お願いいたします。

○事務局

倍ほど事業があって、取り組み方に差が出てくるというふうに考えています、というご意見に対して回答を作成いたしました。我々文化スポーツ課はこの場で意見をいただいて、事業に直接反映ということはもちろん可能ではあるのですけれども、なかなかそれ以外の課は、各課において事業自体の内容をそこの方針、その課の事業ということで実施しているので、我々が事業内容までを変えるというのは現実難しいところです。ですので、施策に小分類に当たる施策にどういうものが入るかというのを全庁的に調査して、入るというふうに回答があったものに今、全てはめ込んでいる状態ですので、それぞれの課の事業が融合してとか、それぞれの結果が結んでということが一番ですけれども、この一覧でお示ししている回答の趣旨としては、その事業が文化の事業として本当に浸透できているかというところをまず我々が確認していきたいということで、うまく響かなければそれはもう文化の事業として成り立たないのではないかなという考えもありましたので、情報発信がちゃんと

できているか、知れ渡っているかというところを知って確認をして進捗をしていきたいというふうな回答をさせていただいているところです。

○会長

お答えよろしいでしょうか。

まだよく分からないということですが、第一にこの資料にもつくり方は、先ほど委員がおっしゃったように、ある程度文化施策というものが根底のなかで浸透してきたということは間違いないですよね。その上で倍近くなっているのは、同じような事業でも、例えば令和４年でいうと５ページの２１１２、２１１３、２１１４って全部後援申請の案内ですね。同じ内容ですけども、そういったものが出てきていると。これまでは、恐らく後援申請は別に文化と関係ないよと思ったけども、よくよく見るとイベントなどもかかわるので出してきた。このずらずらっと並んでいるように増えてきたというようなことが、委員の意見に対するご回答なのかなと思います。

最後おっしゃっていただいた、でもこういうものは本当に文化施策としてふさわしいのかどうかというのは今後見ていただく中でそれはちょっと違うよねということに関してはこの審議会の中で今後検討してください、こういうふうな意味でよろしいでしょうか。私も今、ご回答聞きながらちょっと違うかなと思いながらお話させていただいているのですけれども、いかがでしょうか。

○事務局

申し訳ありません。もう一度実施計画も今日持ち帰りまして、最終的に計画として市民全体に意見をいただく状態までは行かなければならないかなというところなのですが、今は一気にお出ししていて、数も多い状態です。それの中で本当にふさわしいもの、そうでないものというのを一旦整理する予定ではあるのですが、一旦は全て出しているというような感じです。

○委員

すみません、出していただいているというのは、各課からですよね。分類は文化スポーツ課のほうで分類しているのではなく、各課がこういうとこにも当てはまるよということで出されているのですね。

○事務局

現行の方針でやっている事業を文化スポーツ課のほうで分類しまして、それで我々の考え方としてこの施策に当てることが合っているかどうかという調査をいたしました。その結果、いや、それには当てはまらないと言われたものもありますし、いやこっちの施策に当ててくれというものありましたので、それを反映した状態です。

○委員

それなら、回答のほうが進んでいるのだと思います。私はもっと手前の考え方で、こういう一つのことをするのに、今までだったらそれだけでやろうとしていたことが、同じことするのだけれども、意識の中でこういうことも当てはまって、これはやっているのだということが職員のほうの中にあれば少し意識が変わっていくかな。だから、楽しみにしているというだけで。ただ、そういうふうにしますみたいな感じでよかったのですけど、ここまであまり考えていなかったので、もっと単純にいろいろな考えでこれから進んでいくので、すごく楽しみだなと。その後に何か変わってくるかなと思いますけれど、まずはその意志を職員の人が持って当てはまるように取り組んでもらえたらすばらしいなということを書かせていただきました。

○会長

ありがとうございます。ほかは何か異論はないでしょうか。

○副会長

概括的な質問ですけども、新しい市長になってシティプロモーション室ができたのですけども、そのシティプロモーション室は今後高砂にとってどういうことをやっていこうとされるか。高砂市発展のためね。だから、そこら辺で方針とか取組みたいな流れがあるようでしたら教えてもらえたらなと思うのですけども。

○会長

どうぞ、今分かる範囲で結構です。

○事務局

シティプロモーションですけど、政策部というのが新しくできまして、その中でシティプロモーションの室ができております。このシティプロモーションがどんな役割を果たすかなんですけど、もちろん市の中の大きないろいろな施策を考えていくところでもあり、また集約するところでもあり、またそれを外へ出していく、広報もその中に入っておりますので、いかにそれをＰＲしていくかですけども、高砂市の広報力の不足というところも問題、課題として以前はありました。その中で高砂市が今、人口減少であるとかたくさんの課題を抱えている中で、高砂市の魅力をいかにして伝えていくか、どんなこと、どんな事業をすれば、またどんなふうにお伝えすれば高砂市の魅力が伝わっていくかということでこのシティプロモーション室ができております。

施策はそれぞれの担当部のところが考えてまいりますが、それをまた集約して、いかに伝えていけるか、ホームページであったり広報であったりという手段もいろいろあるのですけれども、それをしていく室というところで考えております。そういうお答えでよろしいでしょうか。

○副会長

いいですよ。

○会長

ほかいかがでしょうか。

○委員

全然違う単純な質問をしてもいいですか。委員のほうからも出ていたのですけど、申義堂は、高砂市の中ではどういう位置づけだろうなと、この資料を読みながらふと思ったのですけど、いかがでしょうか。

それと、申義堂はこれからどういうふうに活用していこうとしているのか、うちの近所にあるものですからしょっちゅうあの前を通っているので、この辺りをお聞かせ願えたらなと思います。

○事務局

昔、申義堂は江戸時代に寺子屋というのが勉強する場所としてあったのですけど、そのまま建屋のところが一部他市のところへ行ってしまって、それを復元して高砂市の教育のところがそこにあったのだということを示したいということで、登市長の代に再現したということです。

この申義堂というのは高砂市にとっては、当時、藩校など藩の学問所というのは武士が勉強するところでした。ただ高砂の申義堂の寺子屋というのは商人のほうも勉強していたという記録は残っております。そういう意味では、全国の寺子屋の中では一歩前進している。高砂というのはそういった武士だけの教育だけじゃなく、そこに商人の子供たちも集めて勉強していたということが分かっておりました。そういう意味で、高砂は進んだ教育をしていたのだということの認識をまず持たないといけないと市長もおっしゃっていました。そういった中では高砂市の教育の先端、日本の先端を走っていたところで、高砂市の教育をもっと力入れていきたいという思いがこの再現のところにあります。そういった意味では、今後そこで申義堂で行われること、お琴のこととかやっておりますけれども、そこでいろいろな学びがあってもいいのではないかということで進めていきたいという思いがございます。まだまだ申義堂の活用というところではなかなか進んでないところもありますが、こちらの文化スポーツ課のほうでは、それを一つ寺子屋というそこで学びの、何か学びができる場であるということを重要視しておりますので、そういう活用ができないかということを今後考えていく必要があると考えております。

○委員

そこにプラスアルファですけれども、昔、その寺子屋で教えていた頃は、それこそ私たちの大人が学ぶような大学がありますね、そういうのが６歳の子供でもずっと毎日やっていたらちゃんとこなせていたんです。ですから小さいうちに鍛えよっていいますよね。そこの辺のところ、高砂から進んでいけばそれこそ将来、高砂市の役に立ってくださる人たちが育っていくのではないだろうかというのが私の思っているところです。

○委員

もう一ついいですか。この会の初めに資料館のような話が藤村副会長から出ていたんですけども、資料館としての工楽邸の活用、または今工楽さんの裏、空いていますよね。あの辺りに資料館的なものを建てて、高砂市の歴史的な資料を保管、展示するというような計画はないのですか。

○事務局

資料館につきましては以前からいろいろな要望とかお聞きして、教育委員会でもいろいろ検討したことがあるのですけれども、なかなか現実的にはまだそこの計画というところには至っていないです。ですので、今、まだ現時点で計画があるかというお問い合わせに対しては、申し訳ございませんけれども今の時点ではまだないというような状況でございます。

○委員

高砂の町歩きましたら、だんだんと空き地が増えてきましてね、古いおうちがどんどんなくなって。結構高砂っていうのは古くから裕福なおうちが多くて、結構いい作品をお持ちのところが多いですよね。そういうのが、世代が変わっていく中で値打ちが分からなくて廃棄されたりという話をよく聞くんです。先日、僕の展覧会に来られた方からよくこういうお話を聞いて、高砂何とかならんのかいなと、私もそれを思っているわけですけれども、今やっておかないと本当の高砂の歴史的な遺産、文化遺産というのがだんだんなくなってしまうのが僕らとしては非常に残念です。大分前の話ですけども、うちからこんな物が出てきたんです、見てくれませんか、というので拝見させていただいたことがあるのですけど、これは、大事なものだからここで保管しておいたらどうですか、という話をさせていただいたことがあるのですけども、きっとそういうようなお宅があると思うんですね。そういうものも管理して、またそれを展示して見ていただくというのは高砂っていうのを知っていただく意味で、高砂っていうとこに誇りをもっていただくというのにすごく大事だと思うので、何とかその辺りのことについても考えていただけたらな。なかなか資料館というのは難しいか分かりませんけれども、工楽さんところを、何とかそういう資料館的な位置づけにできないかというのは、僕は申義堂のことを言ったのもそれと関りがあります。かつての高砂の優れた先進的な教育の資料としてのもの、保管展示していくそういうような施設としての位置づけを考えていただけたらなと思います。

○副会長

同じ意見で、高砂市の資料館、例えば新しいもの建てるというよりは、商工会議所の２階、高砂神社の神社会館、そういうところを分館に広めたという格好で、その建物自体も歴史ある建物生かしながらやっていけたらなというふうに思っていま

す。個人で保管することはまずできないですね。何とかそういう、保管できる場所として、そういう建物ができたらなと思います。以上です。

○会長

行政が文化遺産について具体的な役目をどこまで発揮するのか考えなければならないということは先ほど申し上げたとおりで、今までどっちかというと文化財保護に充てられていて、行政改革の中必ずしも重視されているわけではありません。ただ、そうはいっても残すためにそうとうなお金をかけないといけないといけません。

財政的な問題になってまいりまして、さっきも委員もおっしゃっていただいたようにものすごい数がでてくる、これはもう間違いない。それを全部公共でといったら多分それは限界があるかなと思って、何か考えないといけないので早々に詰めていただいて、要するに、３代目だったらまず価値が分からないというのは、おっしゃるとおりです。２代目までおやじさんが引き継いでも、３代目になったらわからない、ということを考えるときに、全部行政でというのは難しい。もし資料館にすればどっと来ますので、それを整理するだけでもお金もかかりますし、そこらへんを考えた上で検討しなければいけないとは思っているのですが、こういったところも含めて、回答は難しいと思うのですが、できる範囲で結構です。スクラップ・アンド・ビルドの計画をつくるということもあると思います。どうぞ。

○事務局

先ほどおっしゃられたように資料館って実は、なかなか今、計画はないっていうような話もさせていただきましたけども、担当部局としては課題であるというところを思っています。ですので、担当のほうでも常にどうしたら可能になっていくのかというのを考えております。ただ先ほど言いましたようになかなか答えが出てこないというのが実情で、これを保管するにしてもどういったところに保管するんだと先ほどおっしゃっていましたけども、今、新しい建物を建てるというのは非常に難しい状況です。今あるところでどこを使うのか。ただ、先ほどおっしゃったようにかなり量がある中でそれを全部保管、保存するところは本当に確保できるのかといったところは非常に難しくてなかなか我々も結論が出ないところではあります。ただ、先ほど言いましたように今一生懸命担当ではそういうこと何とかできないのか、どうやったら可能なのかというのは考えておりますので、結論がなかなか出ない中で申し訳ないのですけれど、そういう状況ではあります。

実際、文化財の建物等の活用ですが、これもなかなか今高砂市はうまくできてないという実情がございます。ただ、今年度から始めているのですけれども、文化財の保存の活用計画を外部委員さんも含めて検討してつくろうとしています。スケジュール的には令和６年度文科省のほうに認定の申請をいたしまして承認を受けようという形でしておりますので、個々の全てのことについて全部保存の活用ということがなかなかできないかもしれませんけれども、今あるものでどう活用していった

らいいのかというようなことを今検討し始めているところですので、その計画がどういう形で出てくるかというのは今のところ未定ですけれども、温かい目で見ていただけたらなというふうに思います。

ただ一つ、今課題になっています曽根の入江家につきましては今年度、保存と活用の計画に着手しておりまして、今年度中には保存活用計画はつくろうという形でしていますので、それについては来年度以降、どういった形でそれが保存と活用というのをしていくかというところになりますので、一つずつしていかないといけないのかなというふうには今取り組んでいるところです。

簡単ですが以上です。

○会長

ありがとうございました。いずれにしても大変な問題ですね。余力もあると私は思っていて、全部行政がこういうことをやるのは不可能だと思っているので、やはり、ある程度機会を作る、あるいは図書室を作るとか、希望者を募るなど、そうしたところはできると思います。なかなかお寺とか宗教に行政は関われないのでどうするかって、何か考えなきゃいけないかなと思っているのですが行政が全部抱え込むというのは不可能だと思っています。それでできないと言ってしまうと散逸してしまいますから工夫は要るだろうと思います。今、ご検討中ですので、また何かいろいろこういうことがありますという、こういう方法があるんじゃないですかというアイデアをぜひともまたご協力いただければいいかなと思っていますので、よろしくお願いいたします。ただ高砂だけじゃないので、この議論は。ほかでもこういう議論はどこでも出てきていて、何かアイデアありますかって言われるけど、全部行政が抱え込むのは難しいので、もし活用するならば、そこは営利的に活用できるような仕組みにつくらないといけない。日本のように地震が多い国だと建て替えがほとんど基本なので、残すというのは難しいです。しかし、おっしゃったように残したいという気持ちが多いので、何か工夫が必要です。実際にやっているところもあります。ただ、全部は残っていません、実際に。本当に一部しか残ってないのですが、やっているところはありますので、そういったことは不可能ではないと思います。

ほかいかがでしょうか。何かご意見、ご感想でも結構です。

○委員

私がしゃべるとちょっととんちんかんなことになるかも分かりません。私は皆さんの高尚な話についていくのが精いっぱいで、聞いて、こんな話もあるのだなと初めて分かりました。

今日結構皆さんのいろいろな意見をお聞ききして、私、高砂人じゃないので本当に詳しいこと分からない中でも、高砂いうのは昔から歴史と文化のあるいい町だと思っていました。小さな市なのに内容の濃い町だと思っていましたけど、最近はい

いようにはあまり思えていません。ここで話を聞いていますと、私は文化人ではないなと。自治会人だなと、ふと思いました。私、本当のところ２４時間３６５日自治会のことしか考えていません。だからいろいろな意見を聞いていましても、すぐその発想が自治会に置き換えてしまいます。じょうとんバスもエコクリーンピアも、それから今、最後に出ていました資料館の問題、全部自治会に当てはめて現在抱えている問題と共通する話題。ただ、考えている目線が違うので文化の面で考えているわけじゃなくて自治会の住民の一般の生活に置き換えています。

それで、今一番問題なのは、私は北浜町ですけども、中が空洞化していて、若い人がいない。これが一番の問題で私が今取り組んでいるのは、中で若い人たちが居着き、いいところだなと思わないといけないということが、私の今思っていることです。これは大きくは高砂市にも共通するかもしれませんけど、どんどん空き家が増えている。その中には道路を拡張という中で、歴史街道という名前がつけられたぐらいにいい場所がありますが、しかし全部空き家。そういうことで、まちづくりというのを考える中で、今皆さんの意見をお聞きして共通するなというところがありまして、各村が充実した上にこの文化振興審議会というのがあるのではないかと思っていまして、何かその隔たりを感じていますということです。いい話が現実的に住民に行き渡っていないというような。だから悪いというのではなくて、どんどん進めていってほしいのですけども、各地域、地域も育てていきたいなと思っております。

○会長

ありがとうございました。最初に申し上げたように、今、日本は基本的に文化財保護、維持というのは全部各個人に任せられている。それが先ほど委員がおっしゃったようにずっと伝統的にやっと統一されて伝統文化を守っていくということを経て初めてできる仕組みだったということです。実は住宅に関しても同じようなことではなく、丸ごと建て替えをしながらずっと移設状態にすることで、実は、修繕しながら、あるいは建て替えながらでも形式だけは残っている。同じものだけど実は変わっているというこういう仕組みがあります。それが存続しているか、初めてできるところが近代化以降、とりわけ平成に入ってからといってもいいのですけども、それが変わってきている。

まさに、委員がおっしゃっていただいたようなことでは委員と恐らく共通するとおっしゃったと思うのですが、そこら辺も、行政がすべて抱えることはできませんよということです。支援以外の方法がありますかということをさっきおっしゃられ、支援が難しかったらほかに検討できることはありますかということを、さっきから申し上げているということでご了解いただければと思います。

どうもありがとうございました。

すいません、いろいろと私のほうも出過ぎたことを申し上げたなと思いながら、でも、今日おっしゃっていただいたことっていうのは高砂だけじゃないですけど、いろいろな課題があるなということは改めて文化施策のほうにもいえると思います。

それでは事務局のほうで議題をその他について、今後のスケジュールのご説明をお願いいたします。

○事務局

今後のスケジュールですが、今いただいたご意見を基に再度方針を整理いたします。１２月中に市民の方に意見を伺うパブリックコメントを実施いたします。その結果を基に、次回１月に４回目の審議会にお集まりいただきたいと思っております。開催日時等はまた後日調整をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

○会長

では一旦お返しいたしますので、よろしくお願いいたします。

○司会

本日は大変熱心な審議をいただきありがとうございました。

閉会に当たり副会長にご挨拶をお願いします。

○副会長

高砂市の職員のほうも半数近く減っているということも聞かさせてもらっているのですけども、大変な中でそしていろいろな課題が出てくる、いろいろな声が出てくるような中でも皆さん方でものすごく大変だというふうに思っています。疲弊されることのないように健康な体と健康な魂で健康な発想で、市民と一緒にいい高砂をつくっていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

○司会

ありがとうございました。

それでは、これにて閉会いたします。どうもありがとうございました。

（午後７時５６分　閉会）